

南の交流拠点に再生整備

東・西口一体で新幹線受入れ

鹿児島中央駅前広場が完成

市民、観光客の有効利用を祈念した。

完成記念セレモニーでは、西口、東口両駅前広場で関係者と平川動物公園のコアラが参加してテープカットとくす玉開きがあった。また、西口のモニユメント「切子燈」、東口の時計塔「レインボーノ」の除幕、披露も合わせて行われた。

続いて、東口で記念式典に移り、赤崎義則鹿児島市長は「利便性、機能性を高め、新たな都市景観が創出された駅前広場は、陸の玄関口として生まれ変わった。新幹線開業とあいまつて鹿児島の明るさと開放感を全国にアピールするとともに、市民や観光客に親しまれることを願っています」と挨拶。

園田太計夫同市建設局長が昭和60年の構想から完成までの事業経過報告を行った後、工事関係者

鹿児島中央駅前広場完成記念行事は、九州新幹線開業を一週間後に控えた6日、鹿児島市のJR西鹿児島駅前で開かれ、人・モノ・情報が集まるところとしての再整備を祝うとともに、

入札談合と独占禁止法について説明した研修会=鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで

下請代金支払遅延防止法解説 測量5団体独禁法順守研修会

北側部分はバスター・ミナルで19カ所の乗降場がある。中央には高さ16mのシンボルツリー「クスノキ」を植栽。南側にはタクシー乗降場、一般車乗降場各2カ所、バスプール(10台分)、タクシープール(12台分)、送迎用駐車場(10台分)など。モニュメントの「切子燈」は高さ8m。桜島の力強い炎など。時計塔「レインボーポーブめロード」の披露目、「切子燈」の点灯式のほか、記念音楽祭など市民行事を盛り上げた。広場

東口は約3万800平方メートルで、総事業費約57億円で13年度に着工した。広場

東口は約700平方メートル。西口は約700平方メートル。総事業費約7

3・5億円。県道下通り部

幅24m、長さ35m、高さ8m。地下通路「つばめロード」は総面積約3200

平方メートル。中央広場部分は

幅24m、長さ35m、高さ8m。高さ3m。地下通路部

出入り口は、今のところ

台座には本物の薩摩切子をめ込んである。

東口は約3万800平方メートルで、総事業費約57億円で13年度に着工した。広場

東口は約700平方メートル。西口は約700平方メートル。総事業費約7